



## 2024年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 株式会社第四北越フィナンシャルグループ

上場取引所 東

コード番号 7327 URL <https://www.dhfg.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 殖栗 道郎

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 三島 康人

TEL 025-224-7111

四半期報告書提出予定日 2023年11月17日

配当支払開始予定日

2023年12月1日

特定取引勘定設置の有無 無

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円、小数点第1位未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は、対前年中間増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期中間期	95,714	23.1	17,692	1.7	13,810	11.6
2023年3月期中間期	77,709	12.5	17,382	52.3	12,370	62.5

(注)包括利益 2024年3月期中間期 24,664百万円 (—%) 2023年3月期中間期  $\Delta$ 27,249百万円 (—%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期中間期	307.24	—
2023年3月期中間期	272.46	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期中間期	10,760,744	437,473	4.0
2023年3月期	10,517,951	415,423	3.9

(参考)自己資本 2024年3月期中間期 437,456百万円 2023年3月期 415,423百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	—	60.00	—	60.00	120.00
2024年3月期	—	70.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	70.00	140.00

(注1)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2)2024年3月期の第2四半期末配当金の内訳 普通配当65円00銭、記念配当5円00銭

(注3)2024年3月期(予想)の期末配当金の内訳 普通配当65円00銭、記念配当5円00銭

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,500	9.7	20,100	13.1	447.01

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期中間期	45,942,978 株	2023年3月期	45,942,978 株
② 期末自己株式数	2024年3月期中間期	978,030 株	2023年3月期	1,010,483 株
③ 期中平均株式数(中間期)	2024年3月期中間期	44,947,584 株	2023年3月期中間期	45,403,380 株

(個別業績の概要)

2024年3月期第2四半期(中間期)の個別業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期中間期	3,311	1.9	2,774	0.1	2,775	0.1	2,737	△0.0
2023年3月期中間期	3,246	△44.4	2,771	△49.1	2,772	△49.5	2,739	△49.7

1株当たり中間純利益	
	円 銭
2024年3月期中間期	60.91
2023年3月期中間期	60.33

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期中間期	325,067	323,738	99.5
2023年3月期	325,026	323,632	99.5

(参考) 自己資本 2024年3月期中間期 323,738百万円 2023年3月期 323,632百万円

(注)「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 当社は、特定事業会社(企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社)に該当するため、第2四半期会計期間につきましては、中間連結財務諸表及び中間財務諸表を作成しております。

[添付資料の目次]

1. 当中間期決算に関する定性的情報	P. 2
(1)経営成績に関する説明	P. 2
(2)財政状態に関する説明	P. 2
(3)業績予想に関する説明	P. 2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1)中間連結貸借対照表	P. 3
(2)中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	P. 5
(3)中間連結株主資本等変動計算書	P. 7
(4)中間連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(企業結合等関係)	P. 9
(重要な後発事象)	P. 10
3. 中間財務諸表及び主な注記	P. 11
(1)中間貸借対照表	P. 11
(2)中間損益計算書	P. 13
(3)中間株主資本等変動計算書	P. 14
(4)中間財務諸表に関する注記事項	P. 14
(継続企業の前提に関する注記)	P. 14

※2024年3月期第2四半期決算説明資料

## 1.【当中間期決算に関する定性的情報】

### (1)【経営成績に関する説明】

当中間連結会計期間の損益状況につきましては、以下のとおりとなりました。

経常収益は、貸出金利息や有価証券利息配当金が増加したことを主因に資金運用収益が増加したことなどから前年同期比 180 億 5 百万円増加し、957 億 14 百万円となりました。

経常費用は、外貨調達コストが増加したことを主因に資金調達費用が増加したことなどから前年同期比 176 億 94 百万円増加し、780 億 21 百万円となりました。

以上の結果、経常利益は前年同期比 3 億 10 百万円増加し、176 億 92 百万円となりました。また、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比 14 億 39 百万円増加し、138 億 10 百万円となりました。

### (2)【財政状態に関する説明】

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比 2,427 億円増加し、10 兆 7,607 億円となりました。また、純資産は前連結会計年度末比 220 億円増加し、4,374 億円となりました。

主要勘定の残高につきましては、預金は前連結会計年度末比 238 億円減少し、8 兆 3,437 億円となりました。また、譲渡性預金は前連結会計年度末比 524 億円減少し、1,607 億円となりました。

貸出金は、前連結会計年度末比 874 億円増加し、5 兆 3,534 億円となりました。

有価証券は、前連結会計年度末比 2,020 億円減少し、2 兆 6,693 億円となりました。

### (3)【業績予想に関する説明】

当中間連結会計期間における親会社株主に帰属する中間純利益は、2023 年 5 月 12 日公表の 2024 年 3 月期通期業績予想対比で 68%の進捗率となっておりますが、地政学リスクの更なる高まりをはじめ、世界経済情勢の不確実性が一層高まっているほか、インフレ抑制に向けた欧米での金融引き締めなど、今後の国内経済および金融市場動向の先行きが不透明であることから 2024 年 3 月期の通期の業績予想値につきましては変更していません。

2. 【中間連結財務諸表及び主な注記】

(1) 【中間連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当中間連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	2,031,509	2,333,505
買入金銭債権	15,609	14,346
商品有価証券	2,558	2,558
有価証券	2,871,378	2,669,336
貸出金	5,265,963	5,353,446
外国為替	19,566	18,415
その他資産	213,929	274,011
有形固定資産	56,018	57,272
無形固定資産	11,428	10,328
退職給付に係る資産	16,521	17,169
繰延税金資産	21,778	18,372
支払承諾見返	20,738	21,251
貸倒引当金	△29,048	△29,272
資産の部合計	10,517,951	10,760,744
<b>負債の部</b>		
預金	8,367,554	8,343,708
譲渡性預金	213,228	160,772
売現先勘定	175,576	205,736
債券貸借取引受入担保金	308,046	328,617
借入金	902,795	1,069,836
外国為替	463	354
信託勘定借	8,386	11,414
その他負債	91,348	166,317
賞与引当金	2,354	2,489
役員賞与引当金	107	—
株式報酬引当金	697	689
退職給付に係る負債	625	1,020
役員退職慰労引当金	37	38
睡眠預金払戻損失引当金	1,189	1,026
偶発損失引当金	1,910	1,920
特別法上の引当金	16	15
繰延税金負債	2,541	3,151
再評価に係る繰延税金負債	4,907	4,907
支払承諾	20,738	21,251
負債の部合計	10,102,527	10,323,270

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当中間連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	102,980	102,980
利益剰余金	293,973	305,063
自己株式	△3,066	△2,978
株主資本合計	423,887	435,065
その他有価証券評価差額金	△19,886	△56,206
繰延ヘッジ損益	288	47,647
土地再評価差額金	5,724	5,724
退職給付に係る調整累計額	5,409	5,225
その他の包括利益累計額合計	△8,463	2,391
非支配株主持分	—	16
純資産の部合計	415,423	437,473
負債及び純資産の部合計	10,517,951	10,760,744

(2) 【中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書】

【中間連結損益計算書】

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2022年 4月 1日 至 2022年 9月 30日)	当中間連結会計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年 9月 30日)
経常収益	77,709	95,714
資金運用収益	40,520	48,009
(うち貸出金利息)	23,200	24,371
(うち有価証券利息配当金)	15,294	18,632
信託報酬	49	68
役務取引等収益	14,855	17,856
その他業務収益	19,206	22,384
その他経常収益	3,077	7,396
経常費用	60,326	78,021
資金調達費用	2,871	16,153
(うち預金利息)	225	308
役務取引等費用	4,287	5,663
その他業務費用	16,556	17,830
営業経費	31,228	31,757
その他経常費用	5,382	6,617
経常利益	17,382	17,692
特別利益	973	1,514
固定資産処分益	973	60
段階取得に係る差益	—	109
負ののれん発生益	—	1,343
金融商品取引責任準備金取崩額	—	1
特別損失	694	148
固定資産処分損	70	76
減損損失	623	72
税金等調整前中間純利益	17,662	19,058
法人税、住民税及び事業税	5,438	5,674
法人税等調整額	△262	△425
法人税等合計	5,175	5,248
中間純利益	12,486	13,809
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	115	△0
親会社株主に帰属する中間純利益	12,370	13,810

【中間連結包括利益計算書】

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
中間純利益	12,486	13,809
その他の包括利益	△39,736	10,855
その他有価証券評価差額金	△50,994	△36,320
繰延ヘッジ損益	11,472	47,358
退職給付に係る調整額	△213	△183
中間包括利益	△27,249	24,664
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△27,373	24,665
非支配株主に係る中間包括利益	123	△0



(3) 【中間連結株主資本等変動計算書】

前中間連結会計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	30,000	98,865	281,174	△1,566	408,473
当中間期変動額					
剰余金の配当			△2,748		△2,748
親会社株主に帰属する中間純利益			12,370		12,370
自己株式の取得				△1	△1
自己株式の処分		△0		0	0
土地再評価差額金の取崩			468		468
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	－	△0	10,090	△1	10,089
当中間期末残高	30,000	98,865	291,265	△1,567	418,563

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	8,030	464	6,251	5,240	19,987	5,044	433,505
当中間期変動額							
剰余金の配当							△2,748
親会社株主に帰属する中間純利益							12,370
自己株式の取得							△1
自己株式の処分							0
土地再評価差額金の取崩							468
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△51,002	11,472	△468	△213	△40,212	120	△40,091
当中間期変動額合計	△51,002	11,472	△468	△213	△40,212	120	△30,002
当中間期末残高	△42,972	11,936	5,783	5,026	△20,225	5,165	403,503

当中間連結会計期間(自 2023年 4月 1日 至 2023年 9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	30,000	102,980	293,973	△3,066	423,887
当中間期変動額					
剰余金の配当			△2,719		△2,719
親会社株主に帰属する中間純利益			13,810		13,810
自己株式の取得				△5	△5
自己株式の処分		△0		93	93
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	－	△0	11,090	88	11,178
当中間期末残高	30,000	102,980	305,063	△2,978	435,065

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△19,886	288	5,724	5,409	△8,463	－	415,423
当中間期変動額							
剰余金の配当							△2,719
親会社株主に帰属する中間純利益							13,810
自己株式の取得							△5
自己株式の処分							93
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△36,320	47,358	－	△183	10,855	16	10,871
当中間期変動額合計	△36,320	47,358	－	△183	10,855	16	22,050
当中間期末残高	△56,206	47,647	5,724	5,225	2,391	16	437,473

(4) 【中間連結財務諸表に関する注記事項】

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

<株式会社エヌ・シー・エス及び株式会社ブリッジこいがたの子会社化>

当社は、2022年12月9日の当社取締役会決議に基づき、2023年4月3日に株式会社エヌ・シー・エス及び株式会社ブリッジこいがたの株式を取得し、当社の連結子会社としております。その概要は以下のとおりであります。

1. 企業結合の概要

(1)被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称	事業の内容
株式会社エヌ・シー・エス	コンピューター関連業務
株式会社ブリッジこいがた	地域商社事業

(2)企業結合を行った主な理由

システム事業を再編することで、グループガバナンスの強化を図るとともに、グループ総合力を発揮し、地域経済への一層の貢献と当社連結利益の最大化を実現することを目的とするものです。

(3)企業結合日

2023年4月3日

(4)企業結合の法的形式

非支配株主からの株式取得及び連結子会社からの現物配当

(5)結合後企業の名称

結合前当事企業の名称	結合後当事企業の名称
株式会社エヌ・シー・エス	株式会社第四北越ITソリューションズ

株式会社ブリッジこいがたの名称に変更はありません。

(6)取得した議決権比率

結合前当事企業の名称	企業結合直前に保有していた議決権比率	企業結合日に取得した議決権比率	取得後の議決権比率
株式会社エヌ・シー・エス	14.9%	85.0%	100.0%
株式会社ブリッジこいがた	14.3%	71.4%	85.7%

(7)取得企業を決定するに至った主な根拠

企業結合に関する会計基準上の取得決定要素に基づいております。

2. 取得原価の算定等に関する事項

(1)被取得企業の取得原価

企業結合直前に保有していた普通株式の企業結合日における時価	235百万円
追加取得した普通株式の時価	737百万円
取得原価	973百万円

(2)被取得企業の取得原価と取得するに至った取引ごとの取得原価の合計額との差額

段階取得に係る差益	109百万円
-----------	--------

3. 取得原価の配分に関する事項

(1)企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	2,179百万円
固定資産	1,559百万円
資産合計	3,738百万円

流動負債	939百万円
固定負債	464百万円
負債合計	1,404百万円

(2)発生した負ののれんの金額及び発生原因

①発生した負ののれん金額 1,343百万円

②発生原因

企業結合時の時価純資産が被取得企業の取得原価を上回ったため

(重要な後発事象)

<従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引>

当社は、2023年5月12日開催の取締役会において、当社グループ従業員に対する当社の中長期的な企業価値向上へのインセンティブの付与と福利厚生を拡充を目的として、「信託型従業員持株インセンティブ・プラン(E-Ship®)」(以下、「本プラン」といいます。)の導入を決議いたしました。2023年11月10日に本プランの詳細を以下のとおり確定いたしました。

本プランは、「第四北越フィナンシャルグループ従業員持株会」(以下、「持株会」といいます。)に加入するすべての従業員を対象とするインセンティブ・プランです。本プランでは、当社が信託銀行に「第四北越フィナンシャルグループ従業員持株会専用信託」(以下、「E-Ship 信託」といいます。)を設定し、E-Ship 信託は、その設定後約5年間にわたり持株会が取得すると見込まれる数の当社株式を予め取得します。その後は、E-Ship 信託から持株会に対して継続的に当社株式の売却が行われるとともに、信託終了時点で E-Ship 信託内に株式売却益相当額が累積した場合には、当該株式売却益相当額が残余財産として受益者適格要件を満たす者に分配されます。なお、当社は、E-Ship 信託が当社株式を取得するための借入に対し保証することになるため、当社株価の下落により E-Ship 信託内に株式売却損相当額が累積し、信託終了時点において E-Ship 信託内に当該株式売却損相当の借入金残債がある場合は、当社が当該残債を弁済することになります。

1. 第四北越フィナンシャルグループ従業員持株会専用信託(E-Ship 信託)の概要

- (1)名称: 第四北越フィナンシャルグループ従業員持株会専用信託
- (2)委託者: 当社
- (3)受託者: 野村信託銀行株式会社
- (4)受益者: 受益者適格要件を満たす者(受益権確定事由の発生後一定の手続を経て存在するに至ります。)
- (5)信託契約締結日: 2023年11月10日
- (6)信託の期間: 2023年11月10日～2028年10月27日
- (7)信託の目的: 持株会に対する安定的かつ継続的な株式の供給及び受益者適格要件を満たす者への信託財産の交付
- (8)受益者適格要件: 受益者確定手続開始日(信託期間満了日が到来し信託財産の換価処分が終了した日、信託財産に属する当社株式が本持株会へ全て売却された日等)において生存し、かつ、本持株会に加入している者(但し、信託契約締結日以降受益者確定手続開始日まで、定年退職、転籍、役員への昇格によって本持株会を退会した者を含みます。)を受益者としてします。

2. E-Ship 信託による当社株式の取得の内容

- (1)取得する株式の種類: 当社普通株式
- (2)株式の取得価格の総額: 2,722 百万円を上限とする。
- (3)株式の取得期間: 2023年11月15日～2024年2月21日(予定)
- (4)株式の取得方法: 取引所市場より当社株式を取得

<自己株式の取得>

当社は、2023年11月10日開催の取締役会において、会社法第459条第1項第1号及び当社定款第37条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

「株主還元方針」に基づく株主の皆さまへの安定的な利益還元、及び資本効率の向上を図るためであります。

2. 取得に係る事項の内容

- (1)取得対象株式の種類  
当社普通株式
- (2)取得し得る株式の総数  
600千株(上限)(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合1.32%)
- (3)株式の取得価額の総額  
1,500百万円(上限)
- (4)取得期間  
2023年11月15日～2024年3月22日  
但し、「第四北越フィナンシャルグループ従業員持株会専用信託(E-Ship 信託)」による株式取得終了後より取得を開始する。
- (5)取得方法  
取引所市場より当社株式を取得

3. 【中間財務諸表及び主な注記】

(1) 【中間貸借対照表】

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当中間会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,845	1,993
未収収益	241	317
未収還付法人税等	1,442	522
その他	4	2
流動資産合計	3,533	2,835
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品	0	0
有形固定資産合計	0	0
無形固定資産		
商標権	6	6
ソフトウェア	6	2
無形固定資産合計	12	8
投資その他の資産		
投資有価証券	10	—
関係会社株式	321,377	322,129
繰延税金資産	92	92
投資その他の資産合計	321,480	322,222
固定資産合計	321,493	322,231
資産の部合計	325,026	325,067
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払費用	13	27
未払配当金	43	50
未払法人税等	3	3
賞与引当金	37	36
役員賞与引当金	21	—
その他	24	18
流動負債合計	144	136
固定負債		
株式報酬引当金	180	168
長期預り金	1,001	933
その他	67	89
固定負債合計	1,249	1,192
負債の部合計	1,394	1,329

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当中間会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金		
資本準備金	7,500	7,500
その他資本剰余金	280,105	280,105
資本剰余金合計	287,605	287,605
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	9,092	9,111
利益剰余金合計	9,092	9,111
自己株式	△3,066	△2,978
株主資本合計	323,632	323,738
純資産の部合計	323,632	323,738
負債及び純資産の部合計	325,026	325,067

(2) 【中間損益計算書】

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業収益		
関係会社受取配当金	2,749	2,749
関係会社受入手数料	497	561
その他	0	0
営業収益合計	3,246	3,311
営業費用		
販売費及び一般管理費	475	536
営業費用合計	475	536
営業利益	2,771	2,774
営業外収益		
雑収入	1	1
営業外収益合計	1	1
経常利益	2,772	2,775
税引前中間純利益	2,772	2,775
法人税、住民税及び事業税	45	38
法人税等調整額	△12	△0
法人税等合計	33	37
中間純利益	2,739	2,737

(3) 【中間株主資本等変動計算書】

前中間会計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本								純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	30,000	7,500	280,106	287,606	7,188	7,188	△1,566	323,227	323,227
当中間期変動額									
剰余金の配当					△2,748	△2,748		△2,748	△2,748
中間純利益					2,739	2,739		2,739	2,739
自己株式の取得							△1	△1	△1
自己株式の処分			△0	△0			0	0	0
当中間期変動額合計	—	—	△0	△0	△8	△8	△1	△10	△10
当中間期末残高	30,000	7,500	280,106	287,606	7,179	7,179	△1,567	323,217	323,217

当中間会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本								純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	30,000	7,500	280,105	287,605	9,092	9,092	△3,066	323,632	323,632
当中間期変動額									
剰余金の配当					△2,719	△2,719		△2,719	△2,719
中間純利益					2,737	2,737		2,737	2,737
自己株式の取得							△5	△5	△5
自己株式の処分			△0	△0			93	93	93
当中間期変動額合計	—	—	△0	△0	18	18	88	105	105
当中間期末残高	30,000	7,500	280,105	287,605	9,111	9,111	△2,978	323,738	323,738

(4) 【中間財務諸表に関する注記事項】

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。



2024年3月期第2四半期決算説明資料



【 目 次 】

I	2024年3月期第2四半期決算ダイジェスト	1
II	2024年3月期第2四半期決算の概況	
1.	損益状況	8
2.	業務純益	10
3.	利鞘	10
(1)	全店分	10
(2)	国内業務部門	10
4.	預金等、貸出金残高	11
5.	預かり資産残高	11
6.	ROE	11
7.	有価証券関係損益	12
8.	有価証券の評価損益(繰延ヘッジ考慮後)	12
(1)	有価証券の評価基準	12
(2)	評価損益	12
9.	自己資本比率	13
III	貸出金等の状況	
1.	金融再生法開示債権及びリスク管理債権	14
2.	貸倒引当金等の状況	14
3.	自己査定結果と金融再生法開示債権及びリスク管理債権の状況	15
4.	業種別貸出状況等	16
(1)	業種別貸出金	16
(2)	業種別リスク管理債権	16
(3)	中小企業等貸出金	16
IV	2024年3月期業績予想	
1.	第四北越フィナンシャルグループ 連結	17
2.	第四北越銀行 単体	17
	参考:第四北越銀行単体 中間財務諸表	18

- (注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 利回り、比率は小数点以下第3位を切り捨てて表示しております。  
 3. 「II 2024年3月期第2四半期決算の概況」以下の2022年9月期比、2022年9月末比、  
 2023年3月末比欄等の計数は、表上の数値による計算結果を表示しております。

## I 2024年3月期第2四半期決算ダイジェスト

### 1. 損益の状況

#### (1) 第四北越フィナンシャルグループ連結損益

- FG連結の親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比14億円増益の138億円となりました。  
 (5月公表値比+38億円、+38.1%)  
 連結調整等は4億円の減益となりましたが、銀行単体は12億円、銀行を除くグループ会社部門は5億円それぞれ増益となりました。
- 連結粗利益は、前年同期比22億円減益の486億円となりました。  
 役務取引等利益は16億円、その他業務利益は19億円それぞれ増益となりましたが、資金利益は57億円の減益となりました。
- 経常利益は、前年同期比3億円増益の176億円となりました。(5月公表値比+50億円、+40.4%)  
 営業経費は5億円、貸倒償却引当費用は1億円それぞれ増加しましたが、株式等関係損益は28億円増加しました。

(単位:億円)

	2023年9月期		2022年9月期
		2022年9月期比	
連結粗利益	486	△ 22	509
資金利益	318	△ 57	376
役務取引等利益	122	16	106
その他業務利益	45	19	26
営業経費 (△)	317	5	312
貸倒償却引当費用 (△)	30	1	28
貸出金償却 (△)	12	1	10
個別貸倒引当金繰入額 (△)	13	△ 4	18
一般貸倒引当金繰入額 (△)	△ 0	1	△ 1
延滞債権等売却損 (△)	0	0	—
その他 (△)	3	2	1
貸倒引当金戻入益	—	—	—
償却債権取立益	3	△ 0	3
株式等関係損益	24	28	△ 4
その他	10	3	6
経常利益	176	3	173
特別損益	13	10	2
税金等調整前中間純利益	190	13	176
法人税、住民税及び事業税 (△)	56	2	54
法人税等調整額 (△)	△ 4	△ 1	△ 2
中間純利益	138	13	124
非支配株主に帰属する中間純利益又は 中間純損失(△)	△ 0	△ 1	1
親会社株主に帰属する中間純利益	138	14	123

<参考> 2023年9月期業績予想(2023年5月12日当初公表値)  
 (単位:億円)

経常利益	126
親会社株主に帰属する中間純利益	100

#### 【親会社株主に帰属する中間純利益の内訳】

(単位:億円)

	2023年9月期		2022年9月期
		2022年9月期比	
銀行単体	104	12	91
グループ会社部門※1	18	5	12
連結調整等※2	14	△ 4	19
FG連結	138	14	123

※1 持株会社・銀行を除くグループ会社の親会社株主に帰属する中間純利益の合計

※2 有価証券連簿価差に伴う調整額など

(2) 第四北越銀行 単体

- コア業務粗利益は、前年同期比35億円減益の460億円となりました。  
 役員取引等利益は3億円、その他業務利益(除く国債等債券損益)は13億円それぞれ増益となりましたが、  
 資金利益は52億円減益となりました。
- コア業務純益は、前年同期比39億円減益の169億円となりました。  
 コア業務粗利益の減益に加え、経費が3億円増加しました。
- 経常利益は、前年同期比3億円増益の149億円となりました。  
 ネット信用コストは4億円増加しましたが、国債等債券損益は17億円、株式等関係損益は25億円それぞれ  
 増加しました。
- 中間純利益は、前年同期比12億円増益の104億円となりました。  
 固定資産処分損益は9億円減少し、法人税等税金関係費用は6億円増加しましたが、減損損失は25億円  
 減少しました。

(単位:億円)

	2023年9月期		2022年9月期
		2022年9月期比	
業務粗利益	428	△ 18	446
(うちコア業務粗利益)	( 460 )	( △ 35 )	( 496 )
資金利益	316	△ 52	369
(うち貸出金利息)	( 242 )	( 11 )	( 230 )
(うち有価証券利息配当金)	( 185 )	( 38 )	( 147 )
(うち投資信託解約損益)	( — )	( △ 44 )	( 44 )
(うち預け金利息)	( 7 )	( △ 11 )	( 18 )
(うち資金調達費用) (△)	( 161 )	( 132 )	( 28 )
役員取引等利益	74	3	71
その他業務利益	36	31	5
(除く国債等債券損益)	( 68 )	( 13 )	( 55 )
(うち国債等債券損益)	( △ 31 )	( 17 )	( △ 49 )
経費(除く臨時処理分) (△)	291	3	287
人件費 (△)	149	△ 3	152
物件費 (△)	121	4	117
税金 (△)	19	2	17
実質業務純益	137	△ 21	159
(コア業務純益)	( 169 )	( △ 39 )	( 209 )
(コア業務純益(除く投資信託解約損益))	( 169 )	( 5 )	( 164 )
一般貸倒引当金繰入額 (△)①	△ 1	1	△ 3
業務純益	138	△ 23	162
臨時損益	10	26	△ 16
うち不良債権処理額 (△)②	25	2	23
うち貸倒引当金戻入益③	—	—	—
うち偶発損失引当金戻入益④	—	—	—
うち償却債権取立益⑤	3	△ 0	3
うち株式等関係損益	22	25	△ 3
経常利益	149	3	145
特別損益	△ 0	16	△ 17
うち固定資産処分損益	△ 0	△ 9	9
うち減損損失 (△)	0	△ 25	26
法人税等税金関係費用 (△)	43	6	36
中間純利益	104	12	91
ネット信用コスト (△) ①+②-③-④-⑤	21	4	17

### ①コア業務粗利益

- コア業務粗利益は、前年同期比35億円減益の460億円となりました。
- ・資金利益は、貸出金利息が貸出金平残の増加と貸出金利回りの上昇により増加したほか、有価証券利息配当金も利回り上昇等により増加しました。一方で、市場金利の上昇による外貨調達コストの増加を主因に資金利益全体では前年同期比52億円減益の316億円となりました。
  - ・役員取引等利益は、資産運用アドバイス収益が保険窓口販売や遺言信託業務などにより増加したことを主因に前年同期比3億円増益の74億円となりました。
  - ・その他業務利益(除く国債等債券損益)は、お客さまの為替変動リスクを回避する効果のあるデリバティブ取引の増加を主因に前年同期比13億円増益の68億円となりました。
- 業務粗利益は、国債等債券損益が17億円増加した結果、前年同期比18億円減益の428億円となりました。

(単位:億円)

	2023年9月期		2022年9月期
		2022年9月期比	
業務粗利益	428	△ 18	446
(うちコア業務粗利益)	( 460 )	( △ 35 )	( 496 )
資金利益	316	△ 52	369
(うち貸出金利息)	( 242 )	( 11 )	( 230 )
(うち有価証券利息配当金)	( 185 )	( 38 )	( 147 )
(うち投資信託解約損益)	( — )	( △ 44 )	( 44 )
(うち預け金利息)	( 7 )	( △ 11 )	( 18 )
(うち資金調達費用) (△)	( 161 )	( 132 )	( 28 )
役員取引等利益	74	3	71
その他業務利益	36	31	5
(除く国債等債券損益)	( 68 )	( 13 )	( 55 )
(うち国債等債券損益)	( △ 31 )	( 17 )	( △ 49 )

※コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券損益

### ②経費

- 経費は、前年同期比3億円増加の291億円となりました。
- ・人件費は、店舗統合や業務改革による業務量減少に伴う人員数の適正化などにより3億円減少しました。
  - ・物件費は、事業者向けポータルサイトなどの非対面チャネルへの新規投資や、セキュリティ強化への対応などにより4億円増加しました。

(単位:億円)

	2023年9月期		2022年9月期
		2022年9月期比	
経費(除く臨時処理分) (△)	291	3	287
人件費 (△)	149	△ 3	152
物件費 (△)	121	4	117
税金 (△)	19	2	17

### ③コア業務純益

- コア業務純益は、前年同期比39億円減益の169億円となりました。
- ・コア業務粗利益が35億円減益となり、経費が3億円増加したことによるものです。

※コア業務純益＝コア業務粗利益－経費(除く臨時処理分)

④経常利益、中間純利益

○経常利益は、前年同期比3億円増益の149億円となりました。  
 ・ネット信用コストは、県外大口先のランクダウンが発生したことなどから、前年同期比4億円増加し21億円となりました。  
 ・株式等関係損益は、株式等売却益の増加により、前年同期比25億円増加し22億円となりました。

○中間純利益は、前年同期比12億円増益の104億円となりました。  
 ・固定資産処分損益は9億円減少し、法人税等税金関係費用は6億円増加しましたが、減損損失は25億円減少しました。

(単位:億円)

	2023年9月期		2022年9月期
		2022年9月期比	
経常利益	149	3	145
特別損益	△ 0	16	△ 17
うち固定資産処分損益	△ 0	△ 9	9
うち減損損失(△)	0	△ 25	26
法人税等税金関係費用(△)	43	6	36
中間純利益	104	12	91

<信用コストの内訳>

(単位:億円)

	2023年9月期		2022年9月期
		2022年9月期比	
一般貸倒引当金繰入額(△)①	△ 1	1	△ 3
不良債権処理額(△)②	25	2	23
貸倒引当金戻入益③	—	—	—
偶発損失引当金戻入益④	—	—	—
償却債権取立益⑤	3	△ 0	3
ネット信用コスト(△) ①+②-③-④-⑤	21	4	17

<株式等関係損益>

(単位:億円)

	2023年9月期		2022年9月期
		2022年9月期比	
株式等関係損益(3勘定戻)	22	25	△ 3
売却益	57	37	20
売却損(△)	34	10	23
償却(△)	0	0	0

## 2. 預金・預かり資産の状況（第四北越銀行 単体）

### (1) 預金

○譲渡性預金を含めた預金等残高は、前年同期末比1,181億円増加し、8兆5,419億円となりました。法人、個人ともに順調に増加したことによるものです。

(単位:億円)

	2023年9月末		2022年9月末
		2022年9月末比	
預金等残高	85,419	1,181	84,237
法人	23,139	240	22,899
個人	56,847	834	56,012
その他	5,432	106	5,325

※預金等残高＝預金＋譲渡性預金

### (2) 預かり資産

○預かり資産残高は、前年同期末比577億円増加し、9,194億円となりました。公共債は53億円減少しましたが、投資信託は50億円、保険は579億円それぞれ増加しました。

(単位:億円)

	2023年9月末		2022年9月末
		2022年9月末比	
預かり資産残高	9,194	577	8,616
投資信託	1,768	50	1,717
公共債	697	△ 53	750
保険	6,728	579	6,148
(参考) 第四北越証券	4,580	646	3,933

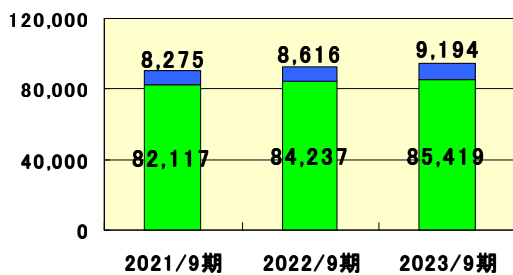
## 3. 貸出金の状況（第四北越銀行 単体）

○貸出金の期末残高は、前年同期末比1,730億円増加し、5兆3,767億円となりました。  
 ・事業性貸出については、県内は実質無利子融資の繰上げ返済に加え、先行きの不透明感や資材価格の高騰等を受けた設備投資の先送りなどを主因に減少したものの、県外は資金需要のある大企業向けが増加したことなどから、事業性貸出全体では前年同期末比増加しました。  
 ・消費性貸出については、非対面チャネルの活用などにより、お客さまの利便性向上に積極的に取り組んだ結果、住宅ローンおよび無担保ローンともに前年同期末比増加しました。

(単位:億円)

	2023年9月末		2022年9月末
		2022年9月末比	
貸出金残高	53,767	1,730	52,037
県内事業性貸出残高	17,089	△ 164	17,253
うち中小企業向け貸出残高	14,241	△ 141	14,382
県外事業性貸出残高	13,465	2,217	11,248
うち中小企業向け貸出残高	5,468	552	4,916
消費性貸出残高	14,672	537	14,135
公金貸出残高	8,539	△ 861	9,400

【預金等と預かり資産】



【貸出金】



■ 預金等 ■ 預かり資産

4. 不良債権の状況（第四北越銀行 単体）

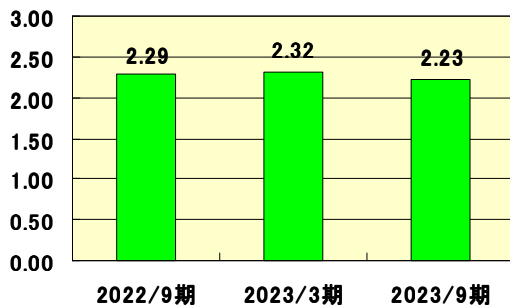
○不良債権額は前年度末比28億円減少し、1,232億円となり、債権額に占める割合である不良債権比率は前年度末比0.09ポイント低下し、2.23%となりました。  
取引先の経営改善、事業再生支援等により危険債権が減少したことなどによるものです。  
物価高や円安などによる影響を注視し、営業店・本部が連携したお取引先の経営改善や事業再生などのご支援に引き続き注力してまいります。

【金融再生法開示債権及びリスク管理債権】

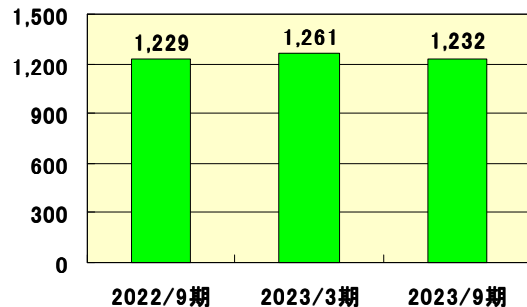
(単位:億円)

	2023年9月末		2023年3月末
		2023年3月末比	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	61	△ 2	63
危険債権	1,117	△ 33	1,150
要管理債権	54	6	47
三月以上延滞債権額	9	0	8
貸出条件緩和債権額	44	6	38
小計 (A)	1,232	△ 28	1,261
正常債権	53,886	833	53,053
債権額合計 (B)	55,119	804	54,314
不良債権比率 (A)/(B)	2.23%	△ 0.09%	2.32%

【不良債権比率】



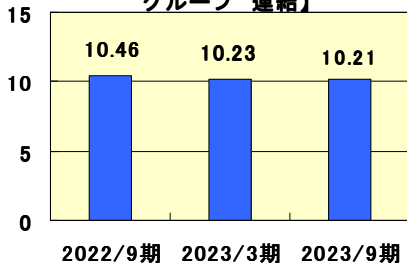
【不良債権額】



5. 自己資本比率（国内基準）

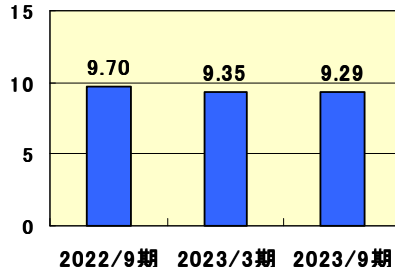
○第四北越フィナンシャルグループ連結の自己資本比率は、前年度末比0.02ポイント低下し、10.21%となりました。  
早期是正措置の国内基準である4%、国際基準である8%を十分上回る水準を確保しております。

【第四北越フィナンシャルグループ 連結】



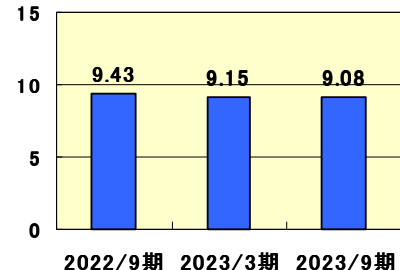
■ 自己資本比率

【第四北越銀行 連結】



■ 自己資本比率

【第四北越銀行 単体】



■ 自己資本比率



## 6. 2024年3月期業績予想

○中間決算における親会社株主に帰属する中間純利益は、2023年5月12日公表の2024年3月期通期業績予想対比68%と順調に進捗しているものの、地政学リスクの更なる高まりをはじめ、世界経済情勢の不確実性が一層高まっているほか、インフレ抑制に向けた欧米での金融引き締めなど、今後の国内経済および金融市場動向の先行きが不透明であることから2024年3月期の通期の業績予想値につきましては、当初公表値を据え置いております。

### (1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結

(単位:億円)

	2024年3月期		2023年3月期 実績
	予想	2023年3月期比	
経常利益	275	24	250
親会社株主に帰属する当期純利益	201	23	177

### (2) 第四北越銀行 単体

(単位:億円)

	2024年3月期		2023年3月期 実績
	予想	2023年3月期比	
コア業務純益	278	△ 64	342
経常利益	224	△ 1	225
当期純利益	154	5	148

## II 2024年3月期第2四半期決算の概況

### 1. 損益状況

【第四北越フィナンシャルグループ 連結】

(単位:百万円)

		2023年9月期		2022年9月期
			2022年9月期比	
連結粗利益	1	48,671	△2,245	50,916
資金利益	2	31,856	△5,793	37,649
役務取引等利益	3	12,260	1,644	10,616
その他業務利益	4	4,554	1,904	2,650
営業経費(△)	5	31,757	529	31,228
貸倒償却引当費用(△)	6	3,020	164	2,856
貸出金償却(△)	7	1,237	150	1,087
個別貸倒引当金繰入額(△)	8	1,379	△443	1,822
一般貸倒引当金繰入額(△)	9	△8	154	△162
延滞債権等売却損(△)	10	50	50	—
その他(△)	11	362	253	109
貸倒引当金戻入益	12	—	—	—
償却債権取立益	13	317	0	317
株式等関係損益	14	2,444	2,879	△435
その他	15	1,037	368	669
経常利益	16	17,692	310	17,382
特別損益	17	1,365	1,086	279
税金等調整前中間純利益	18	19,058	1,396	17,662
法人税、住民税及び事業税(△)	19	5,674	236	5,438
法人税等調整額(△)	20	△425	△163	△262
中間純利益	21	13,809	1,323	12,486
非支配株主に帰属する中間純利益又は 中間純損失(△)	22	△0	△115	115
親会社株主に帰属する中間純利益	23	13,810	1,440	12,370

(注) 連結粗利益 = (資金運用収益 - (資金調達費用 - 金銭の信託運用見合費用))

+ (役務取引等収益 + 信託報酬 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

(参考)

(単位:百万円)

連結業務純益	24	16,792	△2,862	19,654
--------	----	--------	--------	--------

(注) 連結業務純益 = 第四北越銀行業務純益 + その他の会社の業務純益 + 関連会社業務純益 × 持分 - 内部取引

【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

		2023年9月期		2022年9月期
			2022年9月期比	
業務粗利益	1	42,874	△1,820	44,694
(うちコア業務粗利益)	2	(46,073)	(△3,588)	(49,661)
資金利益	3	31,698	△5,280	36,978
(うち貸出金利息)	4	(24,256)	(1,173)	(23,083)
(うち有価証券利息配当金)	5	(18,574)	(3,853)	(14,721)
(うち投資信託解約損益)	6	(—)	(△4,497)	(4,497)
(うち資金調達費用)(△)	7	(16,133)	(13,284)	(2,849)
役務取引等利益	8	7,495	343	7,152
その他業務利益	9	3,680	3,117	563
(除く国債等債券損益)	10	(6,879)	(1,349)	(5,530)
(うち国債等債券損益)	11	(△3,198)	(1,768)	(△4,966)
経費(除く臨時処理分)(△)	12	29,100	348	28,752
人件費(△)	13	14,933	△357	15,290
物件費(△)	14	12,189	466	11,723
税金(△)	15	1,977	238	1,739
実質業務純益	16	13,773	△2,168	15,941
(コア業務純益)	17	(16,972)	(△3,936)	(20,908)
(コア業務純益(除く投資信託解約損益))	18	(16,972)	(561)	(16,411)
一般貸倒引当金繰入額(△)①	19	△110	195	△305
業務純益	20	13,884	△2,363	16,247
臨時損益	21	1,018	2,677	△1,659
うち不良債権処理額(△)②	22	2,594	250	2,344
(貸倒償却引当費用①+②)(△)	23	(2,483)	(444)	(2,039)
うち貸倒引当金戻入益	24	—	—	—
うち偶発損失引当金戻入益	25	—	—	—
うち償却債権取立益	26	314	△1	315
うち株式等関係損益	27	2,237	2,594	△357
経常利益	28	14,902	315	14,587
特別損益	29	△82	1,629	△1,711
うち固定資産処分損益	30	△9	△912	903
うち減損損失(△)	31	72	△2,543	2,615
税引前中間純利益	32	14,820	1,945	12,875
法人税、住民税及び事業税(△)	33	4,552	68	4,484
法人税等調整額(△)	34	△216	581	△797
中間純利益	35	10,484	1,296	9,188
(参考)				
ネット信用コスト(△) 19+22-24-25-26	36	2,168	445	1,723

※コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券損益

※実質業務純益＝業務粗利益－経費(除く臨時処理分)

※コア業務純益＝コア業務粗利益－経費(除く臨時処理分)

2. 業務純益

【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

	2023年9月期	2022年9月期	
		2022年9月期比	2022年9月期
業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	13,773	△ 2,168	15,941
職員一人当たり(千円)	4,556	△ 484	5,040
コア業務純益	16,972	△ 3,936	20,908
職員一人当たり(千円)	5,614	△ 996	6,610
業務純益	13,884	△ 2,363	16,247
職員一人当たり(千円)	4,592	△ 544	5,136

3. 利鞘

(1) 全店分

【第四北越銀行 単体】

(単位:%)

	2023年9月期	2022年9月期	
		2022年9月期比	2022年9月期
資金運用利回 ①	0.98	0.19	0.79
貸出金利回 ②	0.91	0.03	0.88
有価証券利回 ③	1.33	0.15	1.18
資金調達利回 ④	0.31	0.26	0.05
預金等利回 ⑤	0.00	0.00	0.00
外部負債利回 ⑥	1.45	1.32	0.13
預金等原価 ⑦	0.68	0.01	0.67
経費率 ⑧	0.67	0.00	0.67
資金調達原価 ⑨	0.87	0.27	0.60
預貸金レート差 ②-⑤	0.91	0.03	0.88
運用・調達レート差 ①-④	0.67	△ 0.07	0.74
預貸金利鞘 ②-⑦	0.23	0.02	0.21
総資金利鞘 ①-⑨	0.11	△ 0.08	0.19

(2) 国内業務部門

【第四北越銀行 単体】

(単位:%)

	2023年9月期	2022年9月期	
		2022年9月期比	2022年9月期
資金運用利回 ①	0.70	△ 0.04	0.74
貸出金利回 ②	0.87	0.00	0.87
有価証券利回 ③	0.78	△ 0.32	1.10
資金調達利回 ④	0.01	0.00	0.01
預金等利回 ⑤	0.00	0.00	0.00
外部負債利回 ⑥	0.00	0.00	0.00
預金等原価 ⑦	0.66	△ 0.01	0.67
経費率 ⑧	0.66	0.00	0.66
資金調達原価 ⑨	0.60	0.03	0.57
預貸金レート差 ②-⑤	0.87	0.00	0.87
運用・調達レート差 ①-④	0.69	△ 0.04	0.73
預貸金利鞘 ②-⑦	0.21	0.01	0.20
総資金利鞘 ①-⑨	0.10	△ 0.07	0.17

4. 預金等、貸出金残高

【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

	2023年9月末	2023年3月末比		2022年9月末比		2023年3月末	2022年9月末
		増減額	増減率	増減額	増減率		
		預金等残高(未残)	8,541,934	△ 74,204	△ 0.86%		
新潟県内	8,352,081	△ 82,360	△ 0.97%	114,433	1.38%	8,434,441	8,237,648
新潟県外	189,853	8,157	4.48%	3,764	2.02%	181,696	186,089
預金等残高(平残)	8,613,993	136,292	1.60%	103,533	1.21%	8,477,701	8,510,460
新潟県内	8,428,727	135,297	1.63%	102,593	1.23%	8,293,430	8,326,134
新潟県外	185,265	995	0.53%	939	0.50%	184,270	184,326
貸出金残高(未残)	5,376,758	88,646	1.67%	173,007	3.32%	5,288,112	5,203,751
新潟県内	3,710,382	△ 15,695	△ 0.42%	△61,080	△ 1.61%	3,726,077	3,771,462
新潟県外	1,666,375	104,340	6.67%	234,086	16.34%	1,562,035	1,432,289
貸出金残高(平残)	5,307,324	106,892	2.05%	133,434	2.57%	5,200,432	5,173,890
新潟県内	3,708,689	△ 41,823	△ 1.11%	△50,358	△ 1.33%	3,750,512	3,759,047
新潟県外	1,598,635	148,715	10.25%	183,792	12.99%	1,449,920	1,414,843

※預金等残高＝預金＋譲渡性預金

5. 預かり資産残高

【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

	2023年9月末	2023年3月末比		2023年3月末	2022年9月末
		増減額	増減率		
預かり資産残高	919,404	56,911	57,733	862,493	861,671
投資信託	176,814	1,069	5,061	175,745	171,753
公共債	69,734	△ 1,964	△ 5,309	71,698	75,043
保険	672,855	57,806	57,981	615,049	614,874
(参考) 第四北越証券	458,041	32,980	64,643	425,061	393,398

6. ROE (年率換算ベース)

【第四北越フィナンシャルグループ 連結】

(単位:%)

	2023年9月期	2022年9月期比		2022年9月期
		増減率	増減率	
経常利益ベース	8.27	△ 0.11		8.38
親会社株主に帰属する中間純利益ベース	6.45	0.49		5.96

(注)「純資産の部」の期首と期末の平均残高(除く非支配株主持分)により算出しております。

【第四北越銀行 単体】

(単位:%)

	2023年9月期	2022年9月期比		2022年9月期
		増減率	増減率	
経常利益ベース	7.95	0.12		7.83
中間純利益ベース	5.59	0.66		4.93

(注)「純資産の部」の期首と期末の平均残高により算出しております。

7. 有価証券関係損益

【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

	2023年9月期		2022年9月期
		2022年9月期比	
国債等債券損益(5勘定戻)	△ 3,198	1,768	△ 4,966
売却益	4,715	2,403	2,312
償還益	115	115	—
売却損(△)	7,678	707	6,971
償還損(△)	350	308	42
償却(△)	0	△ 265	265
株式等損益(3勘定戻)	2,237	2,594	△ 357
売却益	5,780	3,744	2,036
売却損(△)	3,479	1,094	2,385
償却(△)	63	54	9

8. 有価証券の評価損益(繰延ヘッジ考慮後)

(1) 有価証券の評価基準

売買目的有価証券	時価法(評価差額を損益処理)
満期保有目的有価証券	償却原価法
その他有価証券	時価法(評価差額を全部純資産直入法)
子会社株式及び関連会社株式	原価法

(2) 評価損益

【第四北越フィナンシャルグループ 連結】

(単位:百万円)

	2023年9月末					2023年3月末			
	貸借対照表 計上額	評価損益	2023年3月末比			貸借対照表 計上額	評価損益	評価益	評価損
			2023年3月末比	評価益	評価損				
満期保有目的	55,755	△359	△660	—	359	32,888	301	326	24
その他有価証券	2,603,459	△12,798	14,083	148,852	161,650	2,828,814	△26,881	70,432	97,313
株式	169,622	70,255	24,758	71,116	861	149,550	45,497	48,084	2,587
債券※	1,393,766	△30,554	△13,154	14,105	44,660	1,571,774	△17,400	7,349	24,749
その他	1,040,071	△52,498	2,480	63,629	116,128	1,107,488	△54,978	14,998	69,976
うち外国証券※	650,373	△37,043	△4,360	54,606	91,650	659,469	△32,683	10,838	43,521
合計 (繰延ヘッジ考慮後)	2,659,215	△13,157	13,422	148,852	162,009	2,861,703	△26,579	70,758	97,338

【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

	2023年9月末					2023年3月末			
	貸借対照表 計上額	評価損益	2023年3月末比			貸借対照表 計上額	評価損益	評価益	評価損
			2023年3月末比	評価益	評価損				
満期保有目的	55,755	△359	△660	—	359	32,888	301	326	24
その他有価証券	2,587,401	△10,701	10,635	150,809	161,510	2,815,192	△21,336	74,821	96,157
株式	153,563	71,940	22,305	72,286	346	135,928	49,635	51,426	1,790
債券※	1,393,766	△29,907	△14,068	14,407	44,315	1,571,774	△15,839	7,954	23,794
その他	1,040,071	△52,733	2,399	64,114	116,848	1,107,488	△55,132	15,439	70,572
うち外国証券※	650,373	△37,173	△4,525	54,619	91,793	659,469	△32,648	10,867	43,516
合計 (繰延ヘッジ考慮後)	2,643,157	△11,060	9,974	150,809	161,869	2,848,081	△21,034	75,147	96,181

※なお、債券及び外国証券については、時価変動リスクを低減する目的で金利スワップによる繰延ヘッジを行っており、評価損益は繰延ヘッジ考慮後の計数を記載しております。

9. 自己資本比率

【第四北越フィナンシャルグループ 連結】

(単位:百万円)

	2023年9月末		2023年3月末	2022年9月末
	2023年3月末比	2022年9月末比		
(1)自己資本比率 (2)/(3)	10.21%	△ 0.02%	10.23%	10.46%
(2)自己資本 ①-②	428,774	10,873	417,901	414,585
コア資本に係る基礎項目 ①	447,894	10,557	437,337	433,692
コア資本に係る調整項目 ②	19,120	△ 315	19,435	19,107
(3)リスクアセット	4,197,153	114,361	4,082,792	3,961,011
(4)総所要自己資本額	167,886	4,575	163,311	158,440

【第四北越銀行 連結】

(単位:百万円)

	2023年9月末		2023年3月末	2022年9月末
	2023年3月末比	2022年9月末比		
(1)自己資本比率 (2)/(3)	9.29%	△ 0.06%	9.35%	9.70%
(2)自己資本 ①-②	381,070	6,531	374,539	379,076
コア資本に係る基礎項目 ①	400,072	6,216	393,856	398,127
コア資本に係る調整項目 ②	19,001	△ 315	19,316	19,050
(3)リスクアセット	4,101,917	97,764	4,004,153	3,906,618
(4)総所要自己資本額	164,076	3,910	160,166	156,264

【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

	2023年9月末		2023年3月末	2022年9月末
	2023年3月末比	2022年9月末比		
(1)自己資本比率 (2)/(3)	9.08%	△ 0.07%	9.15%	9.43%
(2)自己資本 ①-②	372,391	5,974	366,417	366,487
コア資本に係る基礎項目 ①	386,544	5,752	380,792	381,047
コア資本に係る調整項目 ②	14,153	△ 222	14,375	14,559
(3)リスクアセット	4,098,362	97,308	4,001,054	3,883,855
(4)総所要自己資本額	163,934	3,892	160,042	155,354

### Ⅲ 貸出金等の状況

#### 1. 金融再生法開示債権及びリスク管理債権

【第四北越フィナンシャルグループ 連結】

(単位:百万円)

	2023年9月末			2023年3月末	2022年9月末
		2023年3月末比	2022年9月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	7,203	△ 5	778	7,208	6,425
危険債権	111,756	△ 3,331	△ 2,606	115,087	114,362
要管理債権	5,429	660	2,241	4,769	3,188
三月以上延滞債権額	931	44	△ 127	887	1,058
貸出条件緩和債権額	4,497	615	2,368	3,882	2,129
小計 (A)	124,389	△ 2,676	413	127,065	123,976
正常債権	5,364,236	81,936	151,382	5,282,300	5,212,854
債権額合計 (B)	5,488,625	79,259	151,795	5,409,366	5,336,830
不良債権比率 (A) ÷ (B)	2.26%	△ 0.08%	△ 0.06%	2.34%	2.32%

【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

	2023年9月末			2023年3月末	2022年9月末
		2023年3月末比	2022年9月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,140	△ 207	675	6,347	5,465
危険債権	111,724	△ 3,332	△ 2,598	115,056	114,322
要管理債権	5,427	658	2,239	4,769	3,188
三月以上延滞債権額	931	44	△ 127	887	1,058
貸出条件緩和債権額	4,495	613	2,366	3,882	2,129
小計 (A)	123,292	△ 2,881	316	126,173	122,976
正常債権	5,388,616	83,300	155,170	5,305,316	5,233,446
債権額合計 (B)	5,511,909	80,420	155,487	5,431,489	5,356,422
不良債権比率 (A) ÷ (B)	2.23%	△ 0.09%	△ 0.06%	2.32%	2.29%
保全額 (C)	105,253	△ 2,229	△ 137	107,482	105,390
貸倒引当金	15,799	86	1,645	15,713	14,154
担保保証等	89,454	△ 2,314	△ 1,782	91,768	91,236
保全率 (C) ÷ (A)	85.36%	0.18%	△ 0.34%	85.18%	85.70%

#### 2. 貸倒引当金等の状況

【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

	2023年9月末			2023年3月末	2022年9月末
		2023年3月末比	2022年9月末比		
貸倒引当金	24,402	△ 160	610	24,562	23,792
一般貸倒引当金	9,106	△ 111	△ 808	9,217	9,914
個別貸倒引当金	15,296	△ 49	1,418	15,345	13,878

(注) 特定海外債権引当金は、該当ありません。



3. 自己査定結果と金融再生法開示債権及びリスク管理債権の状況

【第四北越銀行 単体】

(単位:億円)

自己査定における債務者区分				金融再生法開示債権	リスク管理債権	分類			
保全額	引当金	保全率	非分類			Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類	
破綻先 26	52	9	100.0%	破産更生債権及びこれらに準ずる債権 61	破産更生債権及びこれらに準ずる債権 61	25 〔16〕	35	— 〔3〕	— 〔5〕
実質破綻先 34									
破綻懸念先 1,117	824	143	86.6%	危険債権 1,117	危険債権 1,117	771 〔628〕	196	148 〔292〕	
要 注 意 先  〔うち〕 要管理債権  (54) 要管理先 67	(17)	(5)	(41.7%)	要管理債権  54	三月以上延滞債権 9	7	59		
					貸出条件緩和債権 44				
その他の 要 注 意 先 3,727	21	5	40.8%	小計 1,232	小計 1,232				
正常先(地公体 向けを含む) 50,145				正常債権 53,886	正常債権 53,886	1,159	2,568		
合 計 55,119				合計 55,119	合計 55,119	50,145			
						52,110	2,860	148	—

(注) □内は引当前の分類金額

4. 業種別貸出状況等

(1) 業種別貸出金

【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

	2023年9月末		2023年3月末	2022年9月末	
	2023年3月末比	2022年9月末比			
国内店分(除く特別国際金融取引勘定分)	5,376,758	88,646	173,007	5,288,112	5,203,751
製造業	507,316	△ 1,352	12,928	508,668	494,388
農業、林業	7,428	△ 1,409	△ 489	8,837	7,917
漁業	1,871	△ 252	△ 566	2,123	2,437
鉱業、採石業、砂利採取業	1,182	131	△ 5	1,051	1,187
建設業	155,986	△ 8,798	△ 658	164,784	156,644
電気・ガス・熱供給・水道業	126,925	△ 764	1,427	127,689	125,498
情報通信業	12,055	1,273	△ 12	10,782	12,067
運輸業、郵便業	151,461	5,528	21,656	145,933	129,805
卸売業、小売業	419,925	6,235	18,049	413,690	401,876
金融業、保険業	537,464	54,865	113,742	482,599	423,722
不動産業、物品賃貸業	803,824	26,773	61,738	777,051	742,086
各種サービス業	314,347	△ 13,101	△ 11,761	327,448	326,108
地方公共団体	853,928	△ 384	△ 86,105	854,312	940,033
その他	1,483,039	19,900	43,063	1,463,139	1,439,976

(2) 業種別リスク管理債権

【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

	2023年9月末		2023年3月末	2022年9月末	
	2023年3月末比	2022年9月末比			
国内店分(除く特別国際金融取引勘定分)	123,292	△ 2,881	316	126,173	122,976
製造業	23,745	882	△ 131	22,863	23,876
農業、林業	1,792	△ 154	△ 258	1,946	2,050
漁業	1,099	△ 28	△ 299	1,127	1,398
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	△ 51	—	51
建設業	15,164	197	255	14,967	14,909
電気・ガス・熱供給・水道業	51	△ 2	37	53	14
情報通信業	1,073	△ 90	104	1,163	969
運輸業、郵便業	6,342	△ 404	1,081	6,746	5,261
卸売業、小売業	26,540	△ 1,930	△ 260	28,470	26,800
金融業、保険業	52	45	△ 769	7	821
不動産業、物品賃貸業	9,676	△ 840	1,423	10,516	8,253
各種サービス業	29,653	△ 895	△ 628	30,548	30,281
地方公共団体	—	—	—	—	—
その他	8,101	340	△ 187	7,761	8,288

(3) 中小企業等貸出金

【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

	2023年9月末		2023年3月末	2022年9月末	
	2023年3月末比	2022年9月末比			
中小企業等貸出残高(①+②)	3,438,312	21,907	94,862	3,416,405	3,343,450
中小企業向け貸出残高①	1,971,014	△ 2,529	41,081	1,973,543	1,929,933
消費性貸出残高②	1,467,297	24,436	53,781	1,442,861	1,413,516
住宅資金貸出残高	1,345,421	19,759	45,871	1,325,662	1,299,550
その他消費性貸出残高	121,876	4,678	7,911	117,198	113,965
中小企業等貸出比率	63.94%	△ 0.66%	△ 0.31%	64.60%	64.25%

#### IV 2024年3月期業績予想

##### 1. 第四北越フィナンシャルグループ 連結

(単位:百万円)

	2024年3月期		2023年3月期 実績
	予想	2023年3月期比	
経常利益	27,500	2,452	25,048
親会社株主に帰属する当期純利益	20,100	2,332	17,768

##### 2. 第四北越銀行 単体

(単位:百万円)

	2024年3月期		2023年3月期 実績
	予想	2023年3月期比	
コア業務純益	27,800	△ 6,485	34,285
経常利益	22,400	△ 168	22,568
当期純利益	15,400	553	14,847

以 上

(参考)第四北越銀行単体 中間財務諸表  
(1)中間貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当中間会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	2,031,155	2,332,836
買入金銭債権	15,609	14,346
商品有価証券	2,497	2,497
有価証券	2,859,579	2,655,155
貸出金	5,288,112	5,376,758
外国為替	19,566	18,415
その他資産	136,671	186,973
その他の資産	136,671	186,973
有形固定資産	62,830	63,116
無形固定資産	11,202	10,065
前払年金費用	9,482	10,298
繰延税金資産	22,767	19,079
支払承諾見返	20,738	21,251
貸倒引当金	△24,562	△24,402
資産の部合計	10,455,650	10,686,394
<b>負債の部</b>		
預金	8,387,619	8,365,872
譲渡性預金	228,518	176,062
売現先勘定	175,576	205,736
債券貸借取引受入担保金	308,046	328,617
借入金	892,900	1,060,000
外国為替	463	354
信託勘定借	8,386	11,414
その他負債	55,565	122,585
未払法人税等	580	3,514
リース債務	29	25
その他の負債	54,955	119,045
賞与引当金	2,021	2,005
役員賞与引当金	85	—
株式報酬引当金	516	520
睡眠預金払戻損失引当金	1,189	1,026
偶発損失引当金	1,910	1,920
再評価に係る繰延税金負債	6,780	6,759
支払承諾	20,738	21,251
負債の部合計	10,090,319	10,304,128

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当中間会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
資本金	32,776	32,776
資本剰余金	60,138	60,138
資本準備金	18,635	18,635
その他資本剰余金	41,502	41,502
利益剰余金	280,347	288,121
利益準備金	25,510	25,510
その他利益剰余金	254,837	262,610
固定資産圧縮積立金	625	625
別途積立金	159,334	159,334
繰越利益剰余金	94,877	102,651
株主資本合計	373,263	381,037
その他有価証券評価差額金	△16,501	△54,651
繰延ヘッジ損益	288	47,647
土地再評価差額金	8,281	8,233
評価・換算差額等合計	△7,931	1,228
純資産の部合計	365,331	382,265
負債及び純資産の部合計	10,455,650	10,686,394

(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
経常収益	62,541	79,029
資金運用収益	39,828	47,831
(うち貸出金利息)	23,083	24,256
(うち有価証券利息配当金)	14,721	18,574
信託報酬	49	68
役務取引等収益	11,766	12,259
その他業務収益	7,854	11,729
その他経常収益	3,044	7,141
経常費用	47,954	64,127
資金調達費用	2,849	16,133
(うち預金利息)	225	308
役務取引等費用	4,662	4,832
その他業務費用	7,290	8,048
営業経費	28,692	29,047
その他経常費用	4,458	6,065
経常利益	14,587	14,902
特別利益	973	60
固定資産処分益	973	60
特別損失	2,685	142
固定資産処分損	70	69
減損損失	2,615	72
税引前中間純利益	12,875	14,820
法人税、住民税及び事業税	4,484	4,552
法人税等調整額	△797	△216
法人税等合計	3,687	4,335
中間純利益	9,188	10,484